

生産性向上支援訓練カリキュラム

A. 生産管理	製造業の業務の流れ・役割を学び、業務改善の考え方を習得しよう！
生産・開発計画	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上

コースの ねらい	製造業の業務の流れと各部門の役割について学び、製造業全体の基本的なしくみを理解するとともに、製造現場での仕事に対する考え方、自身の立場や責任を理解し、業務改善の考え方を習得する。
-------------	---

対 象	(初任・中堅層向け) ・製造現場の知識を深めたい方 ・製造業の業務の流れを知りたい方
-----	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
講義内容	1	ものづくりの仕事の流れ	(1) 製造業を取り巻く環境 ・100年に一度と言われる変革期とは一体何か？ そのような時代に我々一人一人は何をすべきかを考察する【ワーク】 (2) 企業の役割 ・企業の役割を理解する 企業は企画～開発設計～生産～販売～アフターフォローを通じ、世間に役立ちつつ永続的に利益を生むことが求められる。そのような役割のなか、一人ひとりが何に取り組むべきかを解説する ・原価と利益の関係 売価は市場によって決まり、原価(三要素を下げることで利益を生み出す唯一の方法であることを解説する【ワーク】	1.5
	2	ものづくり現場の現状と課題	(1) 製造業における優先順位 ・利益創出・ES(環境・安全)QCD(品質・コスト・納期)の考え方について、その優先順位と理由を事例を含めて解説する (2) ものづくりの現場の基礎は5S ・成果の上がる5Sの進め方を解説したのち、自社における取り組みを振り返り、今後の活動の進め方を考察する (3) 無駄とはなにか ・代表的な「トヨタ7つの無駄」を理解する。 ・ムダ(カタカナの無駄)とむだ(ひらがなの無駄)併せて無駄どりの重要性和進め方を解説する	1.5
	3	ものづくりに関する業務改善	(1) 動作経済の原則を体験する ・合理的な動作を体験により理解する【演習】 ピンボードを用い、距離の遠近・片手作業と両手作業・判断の有無・整列と非整列・分業と一気通貫でどのような差が生じるかを体感する (2) 改善活動の基本 ・ボールペン組立【演習】 ボールペンを使用し、レイアウトその他を工夫し、より早く生産(組み立て)できる方法をグループ毎に考え実施し、これを纏める (3) 改善活動の進め方 ・すぐやるべき改善と計画的に行う改善についてその判断基準を解説、併せて改善力の高い現場が「巧遅拙速(こうちせつそく)」を尊ぶ理由についても解説する (4) 改善マインド ・改善力は「手法」*「マインド」 ・まとめとグループ討議【ワーク】	3.0
演 習	・動作経済の原則(ピンボード) No.3(1) ・改善活動の基本(ボールペン組立) No.3(2)		基本項目 に含む	
合計時間			6.0	

カリキュラム作成のポイント
座学+体験型で生産性向上の考え方や進め方を楽しく学べるカリキュラムとした。演習の内容はピンボードによる動作経済の原則の理解に加え、ボールペン組み立て演習で実際にチームで改善を行い成果を実感してもらう。また一方的な講義ではなくディスカッションを多く取り入れることで全員の認識を合わせるとともにコミュニケーションの大切さを学ぶ。また改善は手法同等或いはそれ以上にマインドが重要であり、これについて先人の教えをわかりやすく解説する

備考